



「日本スクールカウンセラー協会」主催 第5回全国研修会

『先生、いじめが起きました！』 ～大慌てする前に知りたいいじめの理解と対応～

SCの相互連携や資質向上を目的に発足した前身の「SCの未来を創る会」より発展した「日本SC協会」では、実践力を高めるための研修会を下記の要領で開催致します。公立・私立や学校種別、資格背景に関係なく「スクールカウンセラー」として活動している方々やSC養成や後方支援を担っている方々と共に、SCに期待されている役割について考え、期待に応じるための知識やスキルの再確認やブラッシュアップができればと考えています。zoom会議室での開催となりますので、全国各地の皆様と共に学び情報共有できることを期待しています。



2025年9月23日(火・祝) 10:00～16:30

Zoomによるオンライン研修 参加費:正会員2,000円 非会員3,500円

【第一部】いじめの理解

○「当事者の視点から考えるいじめの理解」

星出智絵 (福岡県SC) / 吉村隆之 (九州大学)

・司会 田波 勝(東京都SC)

【第二部】事例から考えるいじめの対応

○「加害vs被害、簡単に言えないいじめ対応」

徳田仁子(私立高校SC/京都光華女子大学)

○「学校外で起こったいじめの対応」

後藤沙苗(岩手県SC)

○「失敗から学ぶいじめ対応」

益子洋人(北海道SC/北海商科大学)

・コーディネーター 本間友巳(京都教育大学名誉教授)

【第三部】グループ討議

・進行 吉村隆之(九州大学)

※臨床心理士研修ポイントを申請予定

定員:400名(先着)

申し込み期間: ~2025年9月19日(金) 23:45

申し込み方法:下記URL、もしくは右のQRコードより

申し込みページに進みお手続きください

<https://select-type.com/ev/?ev=2I9Y9IRm-GQ>

問い合わせ先:日本スクールカウンセラー協会 事務局 office.jaosc@gmail.com



【研修企画者より】

企画趣旨

日本では2013年に「いじめ防止対策推進法」ができて、国、自治体、学校、及び学校の設置者が協力して、組織的にいじめの未然防止、早期発見対応、事案対応に取り組むことが定められました。法律にもとづくいじめ防止対策組織が常設されたことなどにより、何かいじめ事件が生じた時だけでなく、日頃からいじめを防ぐという意識は少しずつ醸成されつつあります。しかし一方で、増え続けるいじめ重大事態をいかにして防ぐのかという点においては、まだ課題が山積しています。そのため今回の全国研修会では、いじめの通常事態対応についてSCが知っておくべきことを中心に、その理解と対応を学びたいと思います。

【講義担当者より】

第1部「いじめの理解」

講義「当事者の視点から考えるいじめの理解」

星出智絵（福岡県SC）／吉村隆之（九州大学）

本講義では、いじめに関わる加害者、被害者、傍観者、担任、SCそれぞれの気持ちについて、個人で、またグループワークで考えていきます。それぞれが陥りやすい心理状態や、その過程に理解を深めることで、そうならないために日頃備えておきたい予防について、考えていきます。いじめを見逃さない力、支援や予防のヒント、ご自分の言動を振り返る一助にして頂けると幸いです。

第2部「事例から考えるいじめ対応」

いじめ事例に関わる3つの話題提供。その後、内容の整理と質疑を行い、次の「グループ討議」につなげます。

講義「加害vs被害、簡単に言えないいじめ対応」

徳田仁子（私立高校SC／京都光華女子大学）

SCは学校内の「いじめ防止対策委員会」に所属していることが多いと思いますが、学校現場でいじめに直接関わることは意外と少ないかも知れません。実際にSCとして関わってみると、各人の感じ方や捉え方などの微妙な違いが拡大するような事情や背景が分かり、「加害者」「被害者」または「傍観者」と簡単に同定することが難しいと感じます。さらにインターネットが絡むと、問題はより複雑で見えにくいものになってきます。本講義では、SCの立ち位置をどのように定め、どのように理解し対応することが可能なのか、皆さんと検討できれば幸いです。

講義「学校外で起こったいじめの対応」

後藤沙苗（岩手県SC）

いじめは、学校内でのみ起こるとは限りません。加害者、被害者が同じ学校に在籍しているとも限りません。学校外で、他校に在籍する生徒からいじめに遭い、SCが相談を受けることもあります。いじめの現場が学校ではなく、そして一つの学校ではおさまらないいじめの場合、誰がどのように対応するのか、一学校のSCとして何が求められるのか。SCの葛藤も含めて紹介し、実効的な組織体制について考えたいと思います。

講義「失敗から学ぶいじめ対応」

益子洋人（北海道SC／北海商科大学）

「失敗の科学」という書籍があります。その主張は、失敗を直視し、具体的な改善策に生かすことで、失敗をより減らすことができる。だから、失敗から積極的に学ぼう、というものでした。

これまで、いじめ対応への失敗が、どれだけあったことでしょう。しかし、不幸中の幸いにして、わたくしたちには、それらの失敗を振り返る手掛かりが用意されています。たとえば、世に溢れる（溢れてしまっている）、いわゆる「いじめ重大事態調査報告書」は、その最たるものでしょう。これを生かさず手はありません。

この話題提供では、公開され、入手可能な「いじめ重大事態調査報告書」の一部について、おもにSCの関与という視点からナラティブレビューした結果の報告を試みます。

グループ討議

グループ討議では、SC経験年数でグループ分けをして、「3つの話題提供を聞いて感じたこと、考えたこと」や「SCとしていじめ事例に関わるときの工夫や留意点」などをテーマとして話し合いを行います。

【日本スクールカウンセラー協会】

学校等でスクールカウンセリング業務を行う者（SC）及びその支援を行う関係者相互の連携を密にし、SCの資質、技術及び地位の向上を図り、その活動を通して広く子どもたちの健全育成、家庭と学校の協働及び地域社会の健全な発展を寄与することを目的としています。

前身である「SCの未来を創る会（SC未来の会、2020年発足）」を発展させ、2023年4月に設立されました。